

無事故の歳末 明るい正月

令和3年度 宮城年末年始労働災害防止強化運動

宮城労働局



年末・年始は、日没時間の早まりによる視界不良や積雪凍結などで作業環境が厳しくなることに加え、心理的に慌ただしくなる時季であることから、労働災害の防止についても、最も多い事故の型である「転倒」災害の防止をはじめこれらの事情を踏まえた取組が必要となる。また、多くの事業場において業務繁忙期となるため、労働時間管理や健康管理への配慮もより一層重要となり、さらに、本年においては、引き続き新型コロナウイルス感染症への感染防止対策も不可欠である。

このようなことから、宮城労働局は、県内すべての労働者にとって健康で労働災害のない明るい年末・年始となるよう、「令和3年度宮城年末年始労働災害防止強化運動」を主唱し、県内の各労働災害防止団体等が実施する年末年始の労働災害防止運動などとともに実施するものである。

具体的実施事項は3ページをご覧ください。なお、建災防主唱の年末年始労働災害防止強化運動実施要領は、令和3年11月1日発行の「建設の安全」号外を御確認下さい。

目

- 令和3年度 宮城年末年始労働災害防止強化運動実施要綱（趣旨）…………… 1
- 宮城労働局長メッセージ…………… 2
- 令和3年度 宮城年末年始労働災害防止強化運動実施要綱…………… 3
- 「第13次労働災害防止計画」の進捗状況 …… 4

次

- 第58回全国建設業労働災害防止大会及び建災防会長（宮城県支部関係）表彰者名簿…………… 5
- 安全祈願祭・新年安全衛生推進大会の御案内…………… 5
- 木造家屋等建築工事安全委員会の活動について…………… 6
- 管理士日誌…………… 7
- 講習会開催の御案内…………… 8

宮城労働局長メッセージ

令和3年度 宮城における年末年始 労働災害防止強化運動を迎えるにあたって



この度、10月1日付けで、宮城労働局長に着任しました小林でございます。前職は、厚生労働省所管の独立行政法人労働政策研究・研修機構で、総務・大学校担当理事として、事業目標の達成に向けてのPDCA、事業計画の見直し等を担当しておりました。

特に、新型コロナウイルス感染下におきましては、職員の7割が在宅勤務となり、中心となる研究調査事業はヒアリングのすべてが中止か、又はオンラインとなり、労働大学の授業もオンライン研修に変更するなど、事業の質を維持しながら感染防止に努めてきたところです。

県内の労働災害につきましては、近年減少傾向でしたが、前年度は豪雪の影響もあり冬季の災害が増加しました。昨年の建設業における労働災害は、皆様方のご努力により、休業4日以上死傷者が前年の20%減少、死亡者は過去最少となっているところです。

しかしながら、今年は、既に3名の尊い命が失われ、死傷者数も昨年同期を大幅に上回る方々が被災し、休業を余儀なくされている状況となっております。

年末年始の繁忙期に当たり、建設業におかれましては、無理な工程・工期につながる「飛び込み工事」を抑制し、日没の早まり、視界不良や積雪・凍結などの作業環境の厳しさ、慌ただしさ等、冬季特有のリスク・ファクターに関しては、事前のリスクアセスメントが必須となります。

一方、県下の新型コロナウイルス感染状況は、令和3年10月の緊急事態宣言、蔓延防止措置の解除に伴い、行動制限が緩和されてきているところですが、第6波の感染流行を防止するためにも引き続き、職場における新型コロナウイルス感染症対策等実施のため「取組の5つのポイント」を確認・励行しながら産業活動を維持する必要があると考えています。

このような中で、宮城労働局では、関係団体の協賛の下、県内のすべての労働者が健康で、労働災害のない明るい年末・年始を迎えられるよう、本年も「年末年始労働災害防止強化運動」を展開することといたしました。

とりわけ、新年は第13次労働災害防止計画の最終年となります。昨年5月から、宮城労働局におきましては、建設業労働災害防止協会宮城県支部との連携による「Safe worK 向上宣言」の取組をスタートさせていただきました。昨年の休業4日以上死傷者が一昨年の20%減少となり、死亡者は過去最少となったことは一定の成果と考えられますが、引き続き、同計画の目標（死傷者数5%以上減少、死亡者数15%以上減少）達成に向け、工事現場の皆様におかれましては、「Safe worK 向上宣言」にご参加をいただき、安全衛生管理活動の更なる向上をお願い申し上げます。

建設業労働災害防止協会宮城県支部会員各位におかれましては、健康で、労働災害のない明るい年末・年始を迎えられますようご祈念申し上げ、メッセージとさせていただきます。

令和3年11月吉日

宮城労働局長 小林 健

職場における新型コロナウイルス感染症対策等実施のため「取組の5つのポイント」の詳細は、こちらから 

「Safe worK 向上宣言」の詳細は、こちらから 

「令和3年度宮城年末・年始労働災害防止強化運動」 実施要綱

宮城労働局

令和3年12月1日（水）から令和4年1月31日（月）まで

1 管理体制等に関する事項

- ① 経営トップによる安全衛生方針の表明、安全衛生パトロールの実施等
- ② 「Safework向上宣言」の活用による労働災害防止の気運醸成
- ③ 安全管理者及び衛生管理者、産業医、安全衛生推進者等の職務の徹底
- ④ リスクアセスメントの実施
- ⑤ 安全朝礼及び4S、KY、TBMなどの自主的安全衛生活動の実施
- ⑥ 安全衛生活動の点検、評価、改善及び新年の安全衛生年間計画の作成

2 安全対策に関する事項

- ① 転倒災害防止対策（参考：STOP！転倒災害プロジェクト等）
- ② 腰痛予防対策（参考：職場における腰痛予防対策指針等）
- ③ 墜落・転落防止対策（参考：足場からの墜落・転落災害防止総合対策推進要綱、リーフレット『はしごを使う前に／脚立を使う前に』を活用した墜落・転落災害防止の徹底について等）
- ④ 荷役災害防止対策（参考：荷役作業安全ガイドライン等）
- ⑤ 交通労働災害防止対策（参考：交通労働災害防止ガイドライン等）
- ⑥ 高年齢労働者等の労働災害防止対策（参考：エイジフレンドリーガイドライン等）
- ⑦ 機械災害の防止対策（参考：機械の包括的な安全基準に関する指針等）
- ⑧ 各種設備や保護具等の総点検と作業手順書、作業マニュアル等の理解・遵守徹底

3 健康確保対策に関する事項

- ① 「取組の5つのポイント」や「職場における新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するためのチェックリスト」の活用による新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策
- ② 労働時間の適正管理と時間外・休日労働の削減、年次有給休暇の取得促進
- ③ 長時間にわたる時間外労働等を行う労働者に対する面接指導等
- ④ 健康診断とその結果に基づく適切な事後措置
- ⑤ メンタルヘルス対策

本運動は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から三密回避等基本的な感染防止対策を講じながら、労使協力のもと創意工夫して実施するようお願いします。



STOP！転倒災害プロジェクト



はしご／脚立を使う前に

「第13次労働災害防止計画」の進捗状況

～令和2年の県内建設業は死傷者が大幅に減少したものの、令和3年は増加傾向で推移～

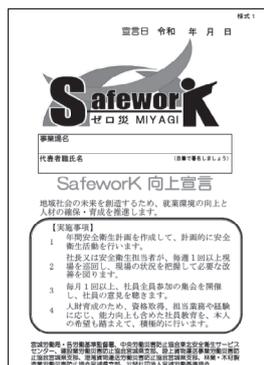
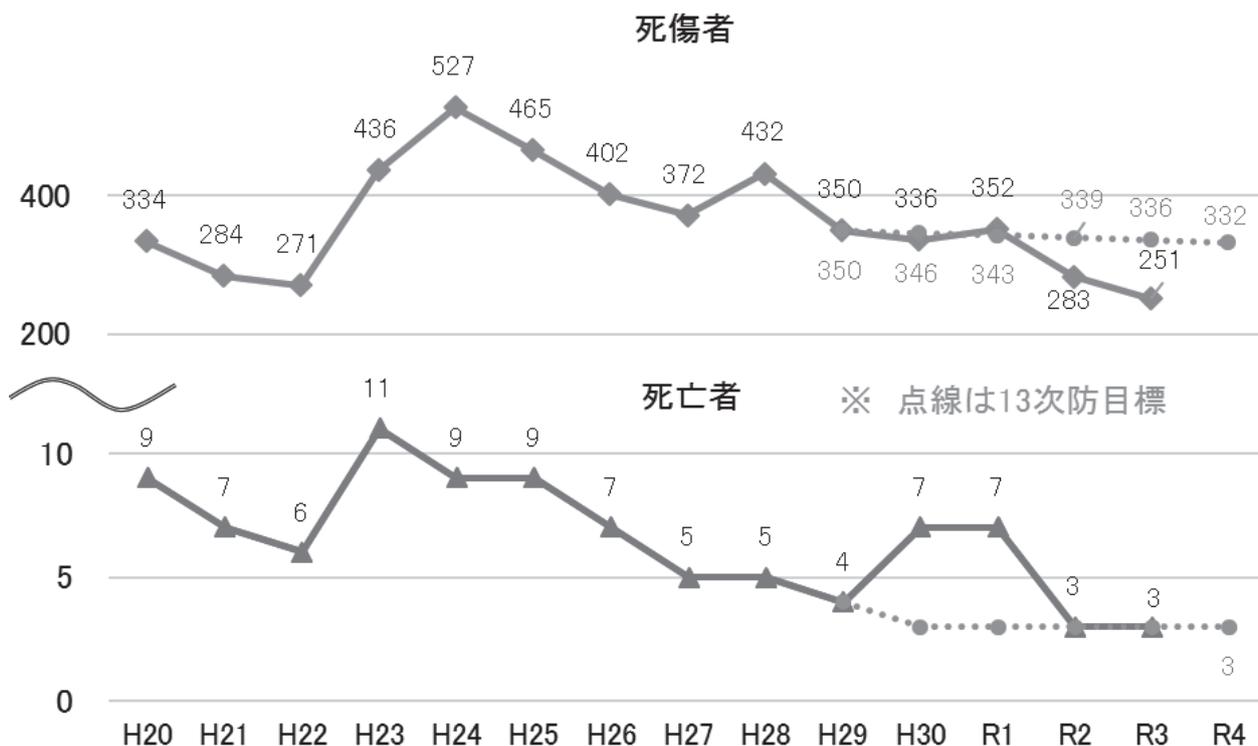
宮城労働局労働基準部健康安全課

令和2年の県内建設業の労働災害による休業4日以上死傷者は283人と、前年から約20%減少し、また、死亡者は過去最少の3人となりました。

しかしながら、今年は、10月末時点の速報値で死傷者が251人で、前年同月に比べて10.1%増加し、また、死亡者は3人となっています。

「第13次労働災害防止計画」(平成30年～令和4年)では、令和4年までに平成29年比で死亡者を15%以上、死傷者を5%以上減少させることを目標としています。建災防会員事業場の皆様には、引き続き、建設工事の安全衛生管理の徹底をお願いします。

なお、当局では、12月1日から来年1月31日までの期間中、県内の労働災害防止団体等とともに「年末年始労働災害防止強化運動」を実施中です。県内のすべての事業場にとって、健康で労働災害のない明るい年末年始となるよう労使双方で協力したお取り組みをお願いします。



「SafeworK向上宣言」をご活用ください！

昨年5月に建災防宮城県支部のご協力により建設業で開始した「SafeworK向上宣言」は、今年7月から県内の労働災害防止団体等とともに全業種に拡大しています。

「SafeworK向上宣言」は、労働災害防止や健康で安全に働くことができる職場環境づくりなどに向けた事業主等の意思を企業内外に表明するための制度です。登録事業場の宣言は、宮城労働局ホームページで公開しますので、是非ご活用ください。なお、すでに登録している事業場も、新たな宣言を行った場合には更新します。更新を希望する場合は、健康安全課にご連絡ください。

第58回全国建設業労働災害防止大会（京都大会）が 開催されました

去る10月7日・8日、京都市にて全国建設業労働災害防止大会が開催されました。新型コロナウイルス感染症に係る緊急事態宣言解除後の開催でしたが、3密防止の観点から、現地集合開催と合わせ、オンラインによる参加によるハイブリット方式の大会となり、併せて4,000人余が参加されました。

大会では、昨年現地開催が見送りとなった仙台大会で講演を行う予定でした歴史学者の小和田哲男氏や、舞の海氏の講演や、新たにICT部会を設置するなど各専門部会の研究発表等も充実しており、実りある大会となりました。



本体大会では建災防会長表彰もあり、宮城県支部関係からは下記事業所・工事現場、個人が受賞されました。

令和3年度 建災防会長表彰者名簿（宮城県支部関係）

【優良賞（事業場・工事現場）】

若生工業（株）、栗村建設興業（株）、（株）渡邊舗装工業、春工業（株）（株）千葉鳶、（株）加藤工務店、（株）高橋工務店、（株）佐々木建設、二ツ山建設（株）、志津川建設（株）、（株）サンエーテック、向井建設（株）東北支店

鴻池組・西武建設・丸本組JV（湊地区土地区画整理事業宅地造成・道路築造工事）、大豊建設（株）東北支店（山田漁港海岸災害復旧（23災県第680号防潮堤その6）工事）、佐藤工業（株）東北支店（郡山市除去土壌等搬出作業等業務委託）、東亜建設工業（株）東北支店（国道45号坂ノ下地区道路改良工事）、大成建設・丸本組特定建設工事JV（（仮称）石巻市複合文化施設建設工事）

【功績賞（個人）敬称略】

佐々木一秋（石堂建設（株））、田中 誠（（株）阿部和工務店）、名和 進（春山建設（株））、米川直樹（飛鳥建設（株）東北支店）、堀川和利（阿部春建設（株））、鈴木明宏（クリア工業（株））、小野憲治（（株）佐々木組）、熱海康太郎（向井建設（株）東北支店）

新年安全祈願祭・新年安全衛生推進大会のお知らせ

恒例の新年祈願祭及び安全衛生推進大会を下記により開催します。今年は、会場参加とライブ配信視聴での参加を併用するハイブリット方式で開催します。推進大会では、特別講演として「安全と心の健康」について、東邦大学教授・精神科医の小山文彦先生からご講演をいただく予定です。

1. 日時 令和4年1月12日（水） 祈願祭 13：30～14：00 推進大会 14：10～16：00
2. 場所 宮城県建設産業会館1階大会議室（仙台市青葉区支倉町2-48）
3. 定員 会場参加 200名

申込 会員の皆様へは、別途御案内をお送りします。

木造家屋等建築工事安全対策委員会の活動について

低層住宅等木造家屋の建築工事は、小規模なうえ、元方の現場責任者が常駐していないことも多く、安全管理上様々な課題があります。

県内の木造家屋等建築工事業の労働災害は、平成22年から令和2年までで、死亡14名を含む1174名の方が死傷しており、建設業全体の1/4を占める状況となっています。（下記グラフ参照）

特に、建て方作業中の梁や、足場・屋根上から墜落して重篤な災害に至るケースが後を絶たず、安全衛生規則を遵守した足場の確実な設置や、安全帯の使用を一層徹底する必要があります。また、労働災害にカウントされない一人親方等の事故も目立っております。

宮城県内では、昭和53年に宮城県木造家屋等建築工事安全対策委員会が設立され、県内8地区委員会、安全パトロールや安全大会、研修会の諸活動を自主的に実施し、低層住宅の安全管理の向上を目指しています。

令和2年度はコロナ禍で、活動は中断も余儀なくされましたが、県内全域で29回（156現場）の安全パトロールを実施しており、安全衛生管理について現場に則したアドバイスがなされています。

安全パトロールは、建災防安全指導者や各地区委員会がお願いしている木造家屋等建築工事に精通した指導員が担当しており、県内各労働基準監督署にもご指導いただいております。

また、住宅建築に携わる職人さんを集めての安全大会や研修会も実施されています。



指導員による安全パトロールの（仙台地区）

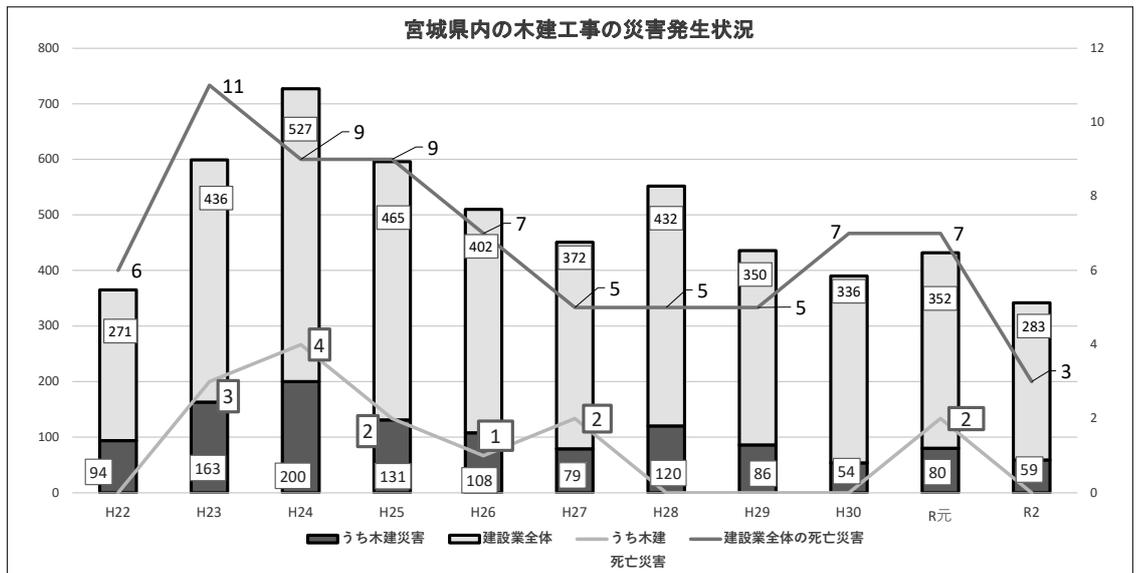


職人さんの安全研修会（瀬峰地区）



県木建委員会

地区委員会
仙台
石巻
古川
仙南
瀬峰
気仙沼
塩釜
名亘



木建工事死亡事故	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R1	R2
	0	3	4	2	1	2	0	0	0	0	2	0

管理士日誌 (44)

建災防宮城県支部駐在 安全管理士 阿部 一夫

<東北地方工事安全施工推進大会 (SAFETY2021) の安全に関する論文について>

東北地方整備局が発注した工事に関して、優秀と認められた現場代理人や安全に関する優秀な論文を表彰する東北地方工事安全施工推進大会 (SAFETY2021) が今年も10月5日に開催されました。本年も昨年に引き続き新型コロナウイルス感染防止の観点から各県ごとの開催となりました。

私は昨年から東北六県から応募された安全に関する論文を拝見する機会をいただきましたが、本年も現場を管理する現場代理人の方や、会社に入社して数年の若い職員の方、日頃現場担当者の苦労を目にしている事務職員の方まで300件を超える論文が寄せられました。

内容を拝見して感じた点としては、多くの方が施工する現場の安全確保に関して日々真剣に悩みながら仕事を進めていることや、その中でもいろいろな工夫されているという点でした。また、多くの方々が「リーダーシップ」、「コミュニケーション」、「慣れ」に関する問題点をあげられていることも特徴的でした。

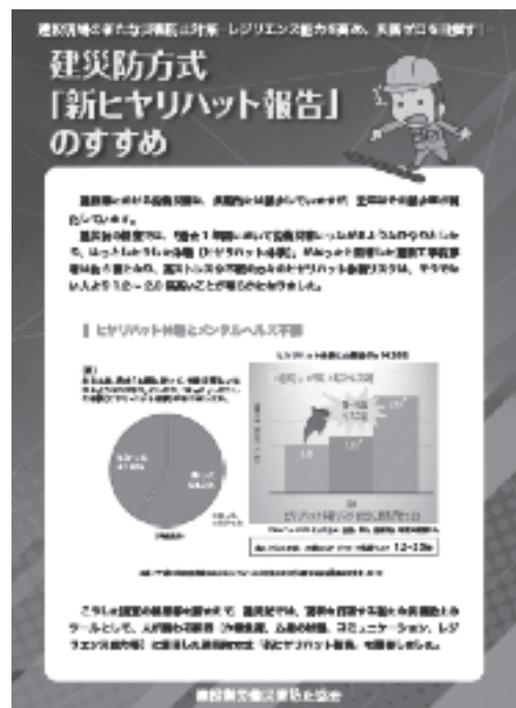
さらに、入社間もないいわゆる新人と言われるような若い職員の方々も、安全管理に関する本質的な問題について勉強し自分の考えを述べていることに感心されました。

現場の安全衛生管理に関しては、法令改正や安全衛生教育の充実化などにより進歩してきていますが、日々変化する現場の状況の中で安全を確保していくためには、現場を管理する方々のリーダーシップやヒューマンファクターに起因する不安全行動の排除、コミュニケーション力の強化がこれまで以上に重要になっていくと思われます。今後このような分野における取組が進展していくこと必要であることを痛感させられた貴重な経験となりました。

<建災防方式「新ヒヤリハット報告」活用マニュアルについて>

建災防ではこれまで建設現場における職場環境改善の一環として「建災防方式健康KY」や「無記名ストレスチェック」などの取組を推奨してきましたが、本年5月、新たに建災防方式「新ヒヤリハット報告」活用マニュアルを公開しました。ヒヤリハット事例の収集、活用についてはこれまでも取り組まれてきましたが、今回の新ヒヤリハット報告は、ヒヤリハットの背景となっている人間の行動特性 (ヒューマンファクター) やレジリエンス能力に着目し、今後のヒヤリハット事例の減少やヒヤリハットを事故災害につなげないための対策に活用するためのツールとなっています。

今まで余り馴染みがなかった考え方なども導入されていますが、災害減少の鈍化傾向を打破する一つの手法として、今後、有用性周知のためのセミナー等も順次開催されていくと思われますので機会がありましたら是非ご参加下さい。



建災防宮城県支部講習開催のご案内 (令和4年1月～令和4年6月)

月	日	実施区分	学科会場
1月	7日	足場の組立て等特別教育	宮城県建設産業会館
	14日	現場管理者統括管理講習	
	25・26日	足場の組立て等作業主任者技能講習	
	27日・28日	職長・安全衛生責任者教育	
	31日	自由研削用といしの取替え等特別教育	
2月	4日	職長・安全衛生責任者能力向上教育	宮城県建設産業会館
	9日・10日	職長・安全衛生責任者教育	
	14日・15日	高所作業車運転技能講習 ※	仙南建設会館
	14日・15日	高所作業車運転技能講習 ※ サテライト講習	
	16～18日	地山の掘削及び土止め支保工作業主任者技能講習	宮城県建設産業会館
	24日・25日	コンクリート造工作物の解体等作業主任者技能講習	
24日・25日	石綿含有建材調査者講習 (一般) (一戸建てから変更)		
3月	3日・4日	建築物等の鉄骨の組立て等作業主任者技能講習	宮城県建設産業会館
	7日・8日	高所作業車運転技能講習 ※	
	15日	足場の組立て等特別教育	
	16日	車両系建設機械 (解体用) 運転技能講習 ※	
	18日	フルハーネス型安全帯使用作業特別教育	
	22日・23日	車両系建設機械 (整地等) 運転技能講習 ※	
24日・25日	職長・安全衛生責任者教育		
4月	7日・8日	石綿作業主任者技能講習	大崎建設産業会館
	11日・12日	車両系建設機械 (整地等) 運転技能講習 ※	
	11日・12日	車両系建設機械 (整地等) 運転技能講習 ※ (サテライト講習)	
	12日	フルハーネス型安全帯使用作業特別教育	宮城県建設産業会館
	13日・14日	高所作業車運転技能講習 ※	
	13日・14日	高所作業車運転技能講習 ※ (サテライト講習)	
	13日～15日	地山の掘削及び土止め支保工作業主任者技能講習	
	25日	施工管理者のための足場点検実務者研修	
26日・27日	職長・安全衛生責任者教育		
28日	職長・安全衛生責任者能力向上教育		
5月	10日・11日	車両系建設機械 (整地等) 運転技能講習 ※	宮城県建設産業会館
	10日・11日	車両系建設機械 (整地等) 運転技能講習 (サテライト講習) ※	石巻地区
	12日・13日	高所作業車運転技能講習 ※	宮城県建設産業会館
	12日・13日	高所作業車運転技能講習 (サテライト講習) ※	石巻地区
	12日・13日	石綿含有建材調査者講習 (一般)	宮城県建設産業会館
	12日・13日	石綿含有建材調査者講習 (一戸建て) 別室で実施予定	
	20日	足場の組立て等特別教育	
	17日・18日	足場の組立て等作業主任者技能講習	宮城県建設産業会館
	19日	不整地運搬車運転技能講習	
	19日・20日	職長・安全衛生責任者教育	
24日	フルハーネス型安全帯使用作業特別教育		
31日	熱中症予防管理者教育		
6月	1日・2日	石綿作業主任者技能講習	宮城県建設産業会館
	3日	現場管理者統括管理講習	
	7日	熱中症予防管理者教育	
	8日・9日	石綿含有建材調査者講習 (一般)	
	10日	石綿取扱い作業従事者特別教育	
	13日・14日	車両系建設機械 (整地等) 運転技能講習 ※	仙南建設会館
	13日・14日	車両系建設機械 (整地等) 運転技能講習 (サテライト講習) ※	
	15日・16日	高所作業車運転技能講習 ※	宮城県建設産業会館
	15日・16日	高所作業車運転技能講習 (サテライト講習) ※	仙南建設会館
	17日	職長・安全衛生責任者能力向上教育	宮城県建設産業会館
	21日・22日	型枠支保工の組立て等作業主任者	
	23日・24日	職長・安全衛生責任者教育	
	23日	フルハーネス型安全帯使用作業特別教育	
28日・29日	玉掛け技能講習		
30日	自由研削用といしの取替え等特別教育		
※	※マークのある講習は実技を伴います。学科修了後、数日中に実技講習が行われます。(日程は申込時にお知らせします。 実技会場はすべて仙台市青葉区芋沢 (仙台宮城 I C から車で約10分) での開催となります。		

(定員になり次第締切りますのでお早めにお申込み下さい)

◎サテライト教室は、テレビ会議システムによるライブ配信による学科講習となります。

お問合せ：仙台市青葉区支倉町2-48 宮城県建設産業会館5階 ☎022-224-1797

ホームページアドレス <http://www.kensaibou-miyagi.jp/>

◎上記以外に追加講習を実施しています。会報・HPでご確認ください。

